

中野市職員採用試験

このまちのために、私たちと一緒に働きませんか。

平成 29 年度市職員採用試験（高校卒業程度）を行います。受験を希望される方は、受験案内で受験資格などを確認の上、所定の試験申込書により申し込みをしてください。なお、受験案内および試験申込書は、市公式ホームページ（右記QRコード）からダウンロードいただけます。



▲QRコード

- 1 次試験 期日 9 月 17 日(日) 会場 中野市役所
- 申込期限 8 月 2 日(水)

< 高校卒業程度 >

試験区分	採用予定人員	受験資格 ※詳しい資格要件は、受験案内をご確認ください	
		生年月日	住所要件など
一般事務	若干名	平成 8 年 4 月 2 日～ 平成 12 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業程度の学力を有する者 ・ 平成 29 年 5 月 1 日現在、中野市に住民登録してあり市内に居住している者、または本人が進学・就職などにより現在は中野市を離れているが、以前に市内に居住していた者（中野市に住民登録のあった者）で、採用後に市内に居住することが確実な者
一般事務 (障がい者)		昭和 38 年 4 月 2 日～ 平成 12 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業程度の学力を有する者 ・ 障がいの程度が 1 級から 6 級までの身体障害者手帳の交付を受けている者
土木		平成 8 年 4 月 2 日～ 平成 12 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校の土木専門課程卒業程度の学力を有する者
主任介護支援 専門員 (社会人経験者)		昭和 38 年 4 月 2 日～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業程度の学力を有する者 ・ 主任介護支援専門員の資格を有する者 ・ 民間企業などにおいて主任介護支援専門員または介護支援専門員としての職務経験を 3 年以上有する者

問い合わせ・受験申込先 庶務課職員係 ☎ (22) 2111 (内線 209・213)

岳南広域消防組合職員採用試験

平成29年度岳南広域消防組合職員採用試験を行います。受験を希望される方は、受験案内で受験資格などを確認の上、所定の試験申込書により申し込みをしてください。なお、受験案内および試験申込書は、岳南広域消防本部公式ホームページ（<http://gakunan.net/>）からダウンロードいただけます。

- 1次試験 期日 9月17日(日) 会場 岳南広域消防本部 講堂
 ○申込受付期間 7月24日(月)～8月14日(月)

試験区分	採用予定人員	受験資格 ※詳しい資格要件は、受験案内をご確認ください		
		資格要件	生年月日	住所要件など
消防	若干名	救急救命士	平成元年 4月2日 ～ 平成10年 4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の学力を有する者 ・救急救命士の資格を有する者（採用予定日の前日までに当該資格を取得見込みの者を含む） ・平成29年6月1日現在、県内の市町村に住民登録してあり居住している者、または本人が進学・就職などにより現在は長野県を離れているが、以前に県内に居住していた者（県内の市町村に住民登録のあった者）で、採用後に岳南広域消防組合組織市町（中野市、山ノ内町）に居住することが確実な者
		消防士	平成5年 4月2日 ～ 平成12年 4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の学力を有する者 ・平成29年6月1日現在、組織市町に住民登録してあり居住している者、または本人が進学・就職などにより現在は組織市町を離れているが、以前に組織市町に居住していた者（組織市町に住民登録のあった者）で、採用後に組織市町に居住することが確実な者

問い合わせ・受験申込先 岳南広域消防組合消防本部庶務係 ☎（23）0119

市役所新庁舎建設だより

～私たちの市役所ができるまで～ vol. 3

問 財政課管財係

☎（22）2111（内線328）

5月の半ばから始まった鉄骨の建て方は、6月末に全ての鉄骨が組み上がり、新庁舎の骨格は周囲からも目立つようになりました。

建て方に合わせ、鉄骨の柱と梁の現場溶接が行われ、品質を確認するため、何百カ所にも及ぶ全ての溶接箇所です超音波による探傷検査が行われました。

溶接が済んだ箇所から、各階の床コンクリートの型枠となる鋼製の床デッキが敷かれました。今後、鉄筋を敷設し床デッキの上にコンクリートを打設すると床が出来上がります。また、鉄骨の梁の上には、コンクリートと一体化させるため、20釐間隔でスタッド（ボルトのようなもの）が溶接されています。

6月末からは、鉄骨鉄筋コンクリートとなる1階床下免震層部分の鉄筋・型枠工事が始まりました。

7月は、床コンクリートを打設し、内部工事の準備が始まります。また、外装工事の準備のため、外部足場を組み、いよいよ外壁の工事が行われます。

新庁舎の骨格



溶接箇所の超音波検査



5階から北側を望む